

ムジークフェストなら2017企画・広報・運営業務委託にかかる質問及び回答

質 問	回 答
<p>■委託業務仕様書／1. 業務概要／(3) 業務内容／③</p>	
<p>実行委員会事務局に連絡調整人員を配置し、とあるが、過去実績の人数をご教示願いたい。</p>	<p>ムジークフェストなら2016においては、2016年2月～7月に1人配置し、4～5月はこれに加えて、会場下見や打合せ等で必要なときに限り、追加で1人配置しています。</p> <p>なお、2017年の配置にあたっては、昨年どおりの配置は必須ではなく、実行委員会と受託者との協議により決定します。</p>
<p>会場や出演者、公演の詳細について管理するためのデータベースシステムの構築とあるが、データベースについての要件をご教示願いたい。(県庁のシステムからのアクセス制限等の問題も発生すると思慮)</p>	<p>Microsoft Accessやクラウド等を活用し、県庁の情報システムとは切り離して、受託者と実行委員会のみで共有して更新できる仕様としてください。</p>
<p>■委託業務仕様書／1. 業務概要／(3) 業務内容／④</p>	
<p>公式ガイドブック、ポスター、チラシ等の作成、配付・発送、とあるが、経費試算のため送付先と各数量について知りたい。(県内施設への配送について、県の既存インフラを活用することは可能か？ 全輸送経費を受託社が負担するのか？)</p>	<p>昨年度はガイドブックを約750カ所に配布しましたが、うち約650カ所には受託者から直接配送しています。ポスター・チラシは約500カ所中約400カ所に受託者から直接配送しています。この配送費用については受託者への委託経費の中に含まれます。受託者から発送されていない残り100カ所については、実行委員会が直接配布・持参しています。</p> <p>2017年の数量については、公募型プロポーザル方式の性質上、各社からの提案内容による競争性を確保する必要がありますので、お示しすることはできません。昨年度の配布部数(説明会でお配りした開催報告書のP26をご参照ください。)を参考に、適切と思われる数量を見込んでください。</p>
<p>■委託業務仕様書／1. 業務概要／(3) 業務内容／⑤</p>	
<p>県民からの問い合わせに対する受付窓口の設置とあるが、窓口とは電話問合せ窓口という理解でよいか？ フェイストゥフェイスでの窓口を設ける必要があるのか？ あわせて、問合せ電話回線は受託社で手配するのか？ 事務局の既存回線を活用可能か？</p>	<p>受付窓口は電話による対応を行ってください。直接対面での対応を行っていただく必要はありません。</p> <p>電話回線については、受託者で専用回線を手配してください。</p>
<p>■ページ6/10 ②企画について 3)</p>	
<p>社寺等会場への来場者の輸送について、説明会において記載を求める旨あったが、この輸送に係る経費・それに付随する警備等経費は委託に含むのか？</p>	<p>社寺会場への来場については、基本的に公共交通機関を利用するよう呼びかけています。一部の会場には送迎バスを運行していますが、この費用については実行委員会が別途負担します。</p> <p>説明会で事務局から説明した内容は、コンサート会場のレイアウトにあたっては、来場者の動線に十分に配慮してください、との趣旨です。</p> <p>会場周辺の警備経費については、委託業務に含みません。</p>
<p>■デザインに関して</p>	
<p>ムジークフェストならにおけるロゴやデザインに関して提案したほうがよいか？</p>	<p>ロゴについては、昨年度のロゴマークやロゴタイプを引き続き使用する予定です(「2016」を「2017」に変更のみ)。</p> <p>デザインについては、今回の募集提案にあたっての必須事項ではありませんが、広報等の提案にあたって附帯して提案していただくことも差し支えないものとします。</p>